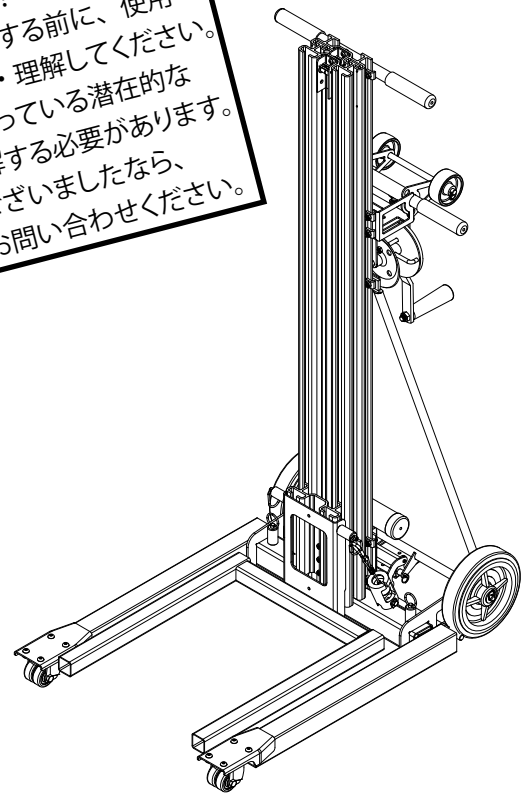
October 2013

使用説明書

2200 シリーズ リフト - リトルホイスター

警告!
このリフトを操作する前に、使用
説明書を必ず熟読・理解してください。
リフトが本来持っている潜在的な
危険を正しく理解する必要があります。
質問等がございましたなら、
SUMNER までお問い合わせください。



SUMNER®

米国
7514 Alabonson Road
Houston, TX 77088
TEL: +1 281-999-6900
FAX: +1 281-999-6966

カナダ
470 Saltsman Drive
Unit 5
Cambridge, ON N3H 4R7
TEL: +1 519-653-5300
FAX: +1 519-653-5305

英国
Unit 16A, Blackpole Trading Estate East
Blackpole Road
Worcester WR3 8SB
TEL: +1 44 01905 458333
FAX: +1 44 01905 458222

目次

所有者の責任 2
安全な操作手順 3
操作手順 5-10
　リフトを作業場所に移動させる 5
　リフトを移動させる (荷重あり) 5
　荷を上昇・下降させる 6
　フォークを逆にする 6
　脚をセットする 7
　キャリッジ安全ラッチ 8
　リフトの収納や輸送 9
オプション 11
　フットブレーキ 11
　作業トレイ 11
　デュアルホイールキット 11
製品仕様 12
上昇ダイアグラム 13
荷重容量表 14
メンテナンス作業 15-16
トラブルシューティング 17
整備記録 18

所有者の責任

本説明書では、誤って操作した場合や不注意に操作した場合危険となる操作について、特別な注意事項として使用者に注意を促すために、「警告」、「注意」、「重要」という用語を使用します。

これらの注意事項には、必ず従ってください。

警告

重大な怪我や死亡事故につながる恐れのある危険な操作です。

注意

軽度の怪我や物損事故につながる恐れのある危険な操作です。

重要

正しい操作やメンテナンスに必要な情報や手順を示しています。

整備記録

作業	日付
作業	日付
作業	日付
作業	日付
作業	日付
作業	日付
作業	日付
作業	日付
作業	日付
作業	日付
作業	日付
作業	日付
作業	日付
作業	日付
作業	日付

整備記録

リフト機種番号 _____

リフトシリアル番号 _____

サービス担当者:

作業	日付
作業	日付
作業	日付
作業	日付
作業	日付
作業	日付
作業	日付
作業	日付
作業	日付
作業	日付
作業	日付
作業	日付
作業	日付
作業	日付

安全な操作手順

重要
このリフトを使用する前に、本使用説明書を熟読・理解してください。

使用前にストラップを点検してください。ストラップにほつれ、磨耗、切れ目、焼け焦げ等、損傷がある場合は使用しないでください。

硬い水平面上でなければ使用できません。作業場所にごみなどがちらかっていないようにしてください

持ち上げる前に荷のバランスをテストしてください。脚を正しくセットせずに使用しないでください。定格荷重容量を決して超えないでください。

トラックの荷台等不安定な場所で使用しないでください。

頭上の電線等の障害物には注意してください。

強風時には使用しないでください。強風時に荷を持ち上げると、風の影響で転倒したり、作業員が怪我をする場合があります。

荷の下に立たないでください

荷を上昇させたままリフトから離れないでください。

人を持ち上げるためには使用できません。フォークに乗らないでください。

マストに登ったり、マストに横から力をかけないでください。はしごの台としてや何かに登るため、人を乗せるために使用しないでください。

雷が発生しているときや悪天候時には、屋外でリフトを使用しないでください。

保護衣服を着用してください。このリフトを操作するときは、安全のために、ヘルメット、安全靴、手袋を着用してください。

リフトの周りでふざけたりしないでください。見物人は安全な距離を置いてください。小児にこのリフトを操作させないでください。小児は、作業区域に立ち入らせないでください。

リフトは正しく使用してください。リフトを設計以外の目的に使用しないでください。

リフト 1 台の容量を超える荷を持ち上げるために、リフト 2 台を使用することはできません。

毎回リフトを操作する前に、可動部分やストラップが正常な状態であることを必ず確認してください。

トラブルシューティング

問題点	原因	処置
マストが順々に上昇していかない	荷重が 140 kgの荷重制限を超えていないことを確認してください。	余分の重量を取り除く
	荷がフォーク上で正しく中心に載せられていない	荷重容量表を確認し、荷の位置を調節する
	ストラップの経路に障害物がある。ストラップの経路にごみなど異物がないか点検する	ディグリーサーまたはブレーキクリーナーでマストセクションを清掃し、シリコンオイルを塗布する
	リフトストラップに損傷がないかどうか点検する	リフトストラップが切れていたり、磨耗、ほつれている場合は、ストラップを交換する
	ストラップの経路には問題がないが、そでもマストがスムーズにスライドしない。	マストセクションに損傷がないかどうか点検する。損傷しているマストセクションを交換する。
荷重が自然にゆっくり降下してしまう	ウインチあるいはラチェットドッグのブレーキが正しく取り付けられていない。	荷重をかけている場合、ウインチのハンドルを前に半回転させるとブレーキが作動します。
ウインチを点検したが、ブレーキがまったく作動しない	ウインチあるいはラチェットドッグのブレーキが正しく取り付けられていないか、損傷しているか、磨耗しているか、いずれかである	ウインチを交換する
ウインチを操作して降下させるのが困難である	ブレーキがかかりすぎている	荷重を取り除き、ウインチハンドルを左に回します。
	ブレーキが解除できない	ウインチを交換する
これらの処置でも問題が解決されない場合		販売代理店のカスタマーサービスにご連絡ください。

メモ：荷重が最大容量に近くなると、マストセクションが順々に延びていかない場合があります。このような状況が発生する場合、使用を継続すれば、あるいは荷重を取り除けば自然に問題が解消されます。マストセクションの動きは、フォークの位置に影響しません。キャリッジは、マストセクションが延び始めるまでにマストセクションのトップまで上昇する必要があり、下降する場合は、最後に下降することになります。

10. ケーブルのたるみをとり、荷重ドラムにむらなく巻きつける。

11. ウインチカバーを交換する。

一般的なメンテナンス

1. ウインチハンドルに磨耗・曲がりがないかどうか点検する。
2. ウインチに取り付けられている 75 mm ローラーに損傷がなくスムーズに回転するかどうか点検する。
3. ボルトやナットが正しく締め付けられているかどうか点検する。
4. 脚、フォーク、ブレース、ベースに曲がりや損傷がないことを点検する。
5. リフトストラップの回転を妨げる損傷（へこみ）等がないか点検する。
6. リフトストラップがねじれていると回転が妨げられるので、ねじれていないことを確認する。
7. 脚のロック機構が正しく作動するかどうか、脚をスライドさせて点検する。
8. マスト、キャリッジ固定装置を点検する。
9. マストセクションがスムーズにスライドするかどうかマストを上昇させて点検する。ストラップの経路にごみやさびがないことを確認し、シリコンオイルを軽く塗布する。
10. キャスター車輪や 200 mm 輸送用車輪がスムーズに回転し損傷がないことを確認する。
11. マストカバーがすべてリフトに確実に取り付けられていることかどうか点検する。

警告！

磨耗した部品や損傷した部品は、必ず Sumner 純正パーツと交換してください。

警告！

リフトの改造は、怪我や死亡事故につながる恐れがありますので、絶対におやめください。

操作手順

1. 作業場所へリフトを移動させる（荷重なし）

リフトは、通常、傾けて 150 mm 車輪２個で作業場所まで移動します。
メモ：荷を上昇させるためのストラップでリフトを引っ張らないでください。

2. 作業場所内でリフトを移動させる（荷重あり）

移動は荷重なしが最適ですが、車輪が４輪ともきちんと地面に設置し水平でスムーズな地面上であれば、軽い荷を移動させることもできます。リフトを移動させる前に、荷を最も低い位置まで下降させます。

注意

荷を移動させる場合は、ずれないようフォークに固定する必要があります。

警告！

荷を上昇させたまま移動させる場合は、4 ～ 5 m 程度の短距離に限定してください。

荷を上昇させたまま移動させる必要がある場合

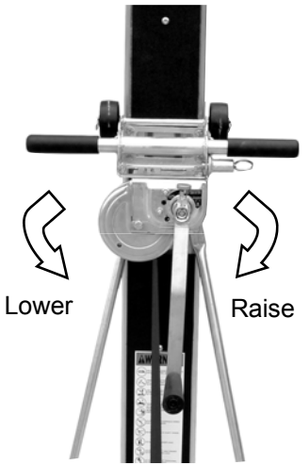
- 障害物がないことを確認します。
- 荷や操作員の背後に人が近づかないようにします。
- リフトはゆっくり移動させます。急に動いたり止まったりしないようにします。
- 荷が確実に固定され、バランスが正しく取れていることを確認します。14 ページの荷重容量を確認してください。

3. 荷を上昇・下降させる

ウインチのクランクを操作し、必要な位置までフォークを上下させます。

不安定な荷は、持ち上げる前にしっかりバランスをとり固定する必要があります。

頭上に障害物がないことを確認し、ウインチクランクを右に回して荷を上昇させます。ウインチハンドルを左に回して荷を下降させます。



注意

床面が平らであることを確認してください。

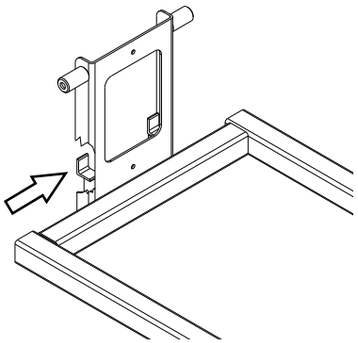
警告!

リフトに乗ることはできません。このリフトは、人を乗せるものではなく、人の移動や持ち上げに使用することはできません。

4. フォークを取り外し逆にする

2200シリーズ リフトのフォークは取り外し可能です。収納時には、フォークの取り外しをお奨めします。上昇高がさらに必要な場合フォークを逆にすることができます。

フォークの取り付け時に便利なよう、フォークの溶接部分の内側に小さなフックが備わっています。



メンテナンス作業

毎回使用の前に以下を確認してください。

1. リフトストラップに、ほつれ、切れ目、焦げ目等がないかどうか点検する。目視で上昇ストラップに損傷が認められる場合は、リフトを使用しないでください。
2. ウインチがスムーズに回転でき、ウインチドラムにリフトストラップが絡まっていないことを確認する。
3. フォーク、脚、ベースに曲がりがないことを確認する。
4. キャスターがスムーズに動くことを確認する。

6ヶ月毎推奨点検項目

1. リフトストラップに、ほつれ、切れ目、焦げ目等がないかどうか点検する。目視で上昇ストラップに損傷が認められる場合は、リフトを使用しないでください。
2. ウインチがスムーズに作動し、緩んでいる部品や損傷している部品がないことを確認する。

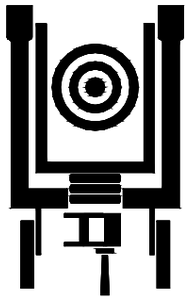
ウインチのメンテナンス

1. ウインチカバーが両方ともウインチに取り付けられていることを確認する。
2. ラチェットドッグとブレーキラチェットが磨耗していないかどうか点検する。目視で磨耗が認められる場合は、ウインチを交換する。磨耗していない場合は、両方のパーツに薄いオイルを注油する。
3. ギアの歯が磨耗していないかどうか点検する。磨耗していない場合は、50 番のエンジンオイルを歯に塗布する。
4. ブレーキ調整の正しい手順については、17 ページの「トラブルシューティング」をご覧ください。

リフトストラップを交換する

1. キャリッジを下げ、安全ラッチがかみ合うようにする。
2. ウインチからギアカバー大を取り外す。
3. フロントマストの上部からブラケット固定ボルトを外す。
4. リフトストラップ取付ピンをブラケットから引き抜き、ストラップの穴から外す。
5. ウインチを操作して、古いリフトストラップをリフトから引き出す。通す方向をメモする。
6. リフトストラップをドラムに取り付けているボルトを外し、古いリフトストラップを取り外す。
7. 新しいリフトストラップ（ラベルのない端）をトップマストのブラケットにピンで取り付ける。
8. ステップ 5 のメモを確認しながら、新しいリフトストラップをリフトに通す。
9. ステップ 6 で取り外したボルトを用いて、新しいリフトストラップをウインチドラムに取り付ける。**メモ： リフトストラップは、ウインチの下部からドラムの右側（リフト後部から見て）を通します。ドラムの左側からリフトストラップを通すとブレーキが作動しなくなります。**

荷重容量表

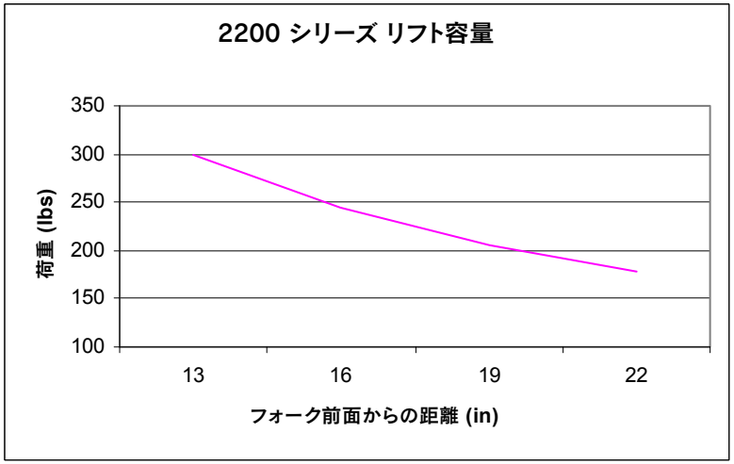


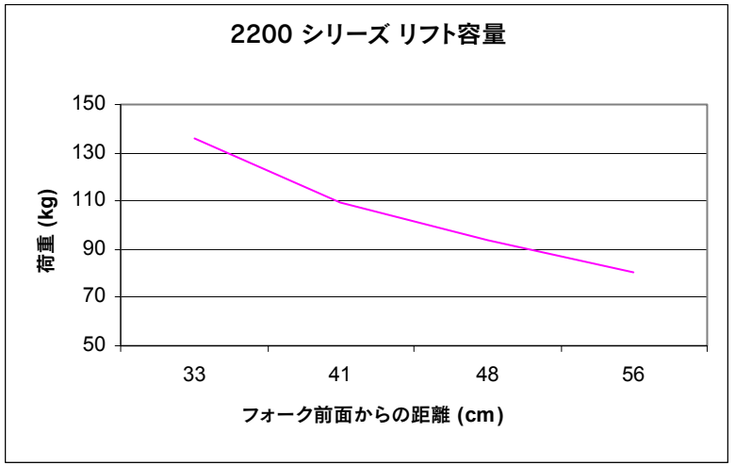
警告!

荷の重心がキャリッジから 500 mm を越えることはできません。

警告!

荷重の重心は、常にフォークアームの間で、できる限りリフトの後ろ側になければなりません。





フォークを取り外すには、スプリング内蔵ピン２本を抜きます。フォークを下に押し下げながら、同時にフォークの上部がリフトから離れる方向に回転させ、フォークを押し下げると、キャリッジ後部がフックから外れます。

フォークを取り付けるには、この手順を逆に行います。

フォークを逆にセットするには、フォークを180度回転させます。フォークのかかと部分をキャリッジに乗せます。これでフックがキャリッジ後部にひっかかります。フォークアセンブリーをリフトの方向に回転させながら、同時にスプリング内蔵プランジャーのリングを引っ張ります。

5. 脚をセットする

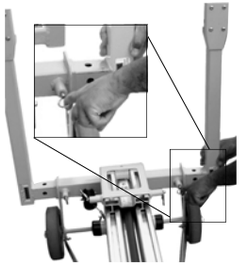
2200 シリーズ リフトは脚が格納位置で出荷されます。フォークを取り付けリフトを使用する前に、脚を回転させ使用位置にセットする必要があります。

注意

脚が格納状態でフォークを取り付けたり、リフトを使用するとリフトが不安定になります。

脚を使用位置にするには、リフトを平らで水平な場所に横に置きます。

一方の手で、スプリング内蔵ピンを引っ張りながら、他方の手で脚をベースから引き出します。一方の手で、スプリング内蔵ピンを引っ張りながら、他方の手で脚を 90 度回転させてからベースに戻します。他方の脚についても同じ作業を行います。



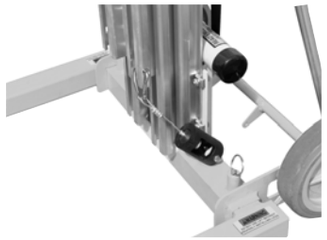
脚の使用位置には、広い位置と狭い位置の２種類があります。狭い位置は、狭い場所での作業に適しています。必要というわけではありませんが、2.4 m以上に上昇させる場合、広い位置の方が安定します。

警告!

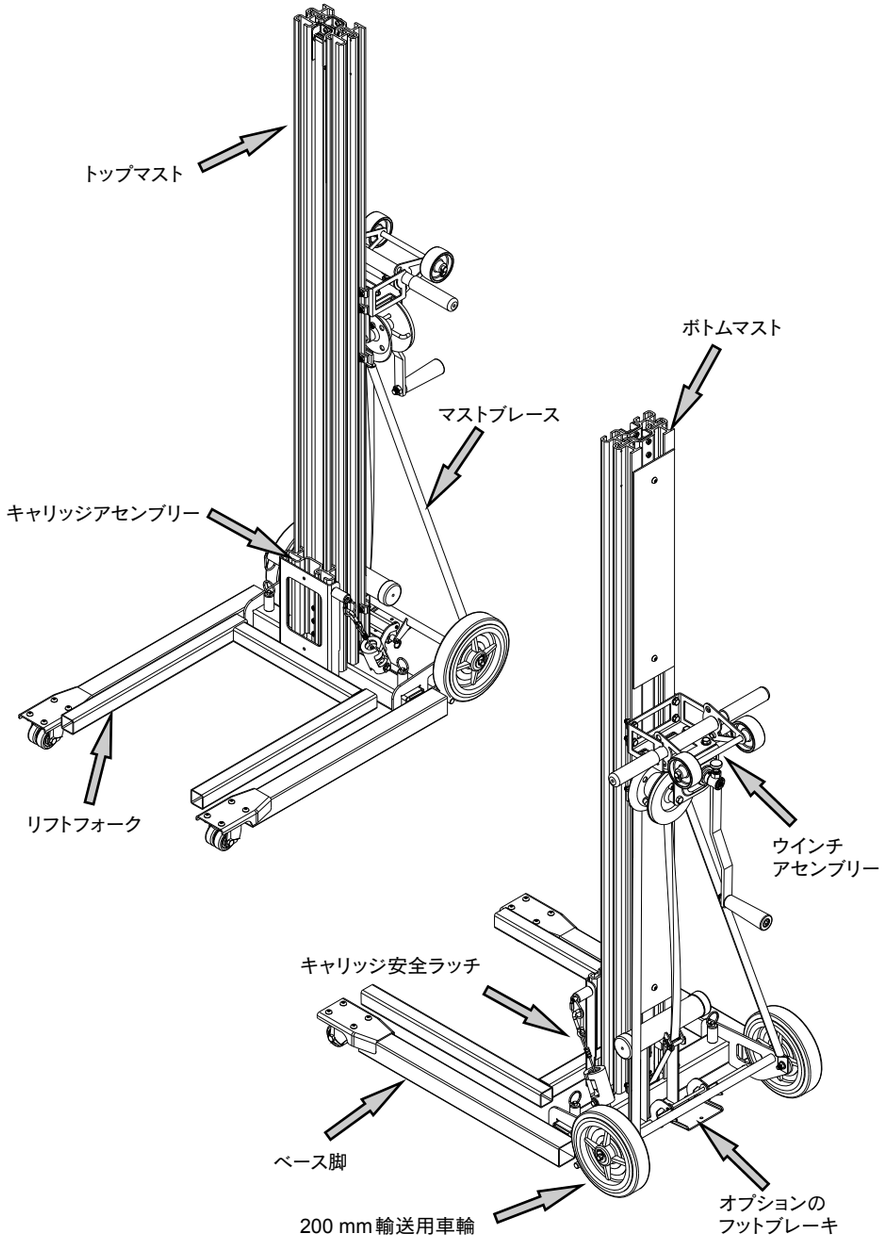
スプリング内蔵ピンが脚の所定位置に確実にはまっていない状態で荷を上昇させると、リフトが不安定になったり転倒することがあります。

6. キャリッジ安全ラッチ

2200 シリーズ リフトは、キャリッジ安全ラッチがキャリッジにかかった状態で出荷されます。ラッチの目的は、マストが輸送中に伸びないようにするためです。リフトを使用するには、キャリッジの安全ラッチを解除し、脚とフォークを使用位置にセットします。



リフト構成図



製品仕様

	2204	2206	2208	2210
	(cm)	(cm)	(cm)	(cm)
寸法				
格納時の高さ	146.6	109.2	146.6	177.0
格納時の長さ	31.8	31.8	31.8	31.8
使用時の高さ	146.6	109.2	146.6	177.0
使用時の長さ	102.4	102.4	102.4	102.4
ベース幅 (狭)	64.3	64.3	64.3	64.3
ベース幅 (広)	79.5	79.5	79.5	79.5
最低地上高	2.0	2.0	2.0	2.0
荷面高さ (最小)	3.8	3.8	3.8	3.8
全高 (フォーク下げ)	126.2	167.4	240.0	300.0
全高 (フォーク上げ)	157.5	198.6	270.0	340.0
フォーク仕様				
フォーク幅	45.0	45.0	45.0	45.0
フォーク長さ	53.3	53.3	53.3	53.3
フォーク重量	26.9	26.9	26.9	26.9
重量				
実重量	38 kg	41 kg	43 kg	48 kg
荷重容量 (13 インチ LC)	140 kg	140 kg	140 kg	140 kg

キャリッジの安全ラッチは、キャリッジかフォーク、いずれかに掛けることができます。フォークにかける場合は、キャリッジを最も低い位置まで下降させます。安全スナップをフォークアセンブリーの横にある安全ラッチループに留めます。

安全ラッチを解除するには、この手順を逆に行います。

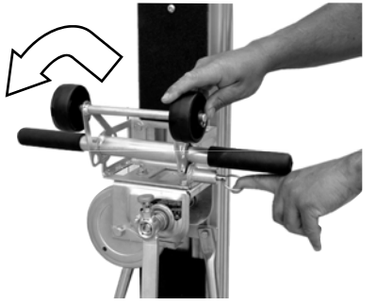
リフトを使用中は、安全ラッチは、輪にして邪魔にならないようします。

安全スナップを解除せずに誤ってウインチを操作すると、ゴムのストッパーがハウジングから引き込まれ、リフトの損傷を防ぎます。安全ラッチをリセットするには、サイドアクセススロットからゴムのストッパーをハウジング内に戻します。

7. リフトの収納と輸送

リフトを収納・輸送するには、フォークを外し (セクション 4 に記載)、脚を格納位置にし (セクション 5 に記載)、ウインチハンドルを逆にします。
ウインチハンドルを逆にするには、一方の手でスプリング内蔵ピンを引っ張りながら、他方の手でハンドルを移動させます。ハンドルを 180 度回転させ再度セットします。これでウインチハンドルは、輸送・格納位置になりました。

脚とウインチハンドルを格納位置にすると、リフトはコンパクトになりますから、正立位置のまま簡単にしまうことができます。



リフトを輸送する場合、トラックに積みこむには、75 mm輸送用車輪を使用する必要があるでしょう。このためには、スプリング内蔵ピンを一方の手で引っ張りながら、車輪アセンブリーを他方の手で回転させます。車輪アセンブリーが完全に回転すると、スプリング内蔵ピンが自然にロックされます。**メモ：75 mm車輪を回転させ引き出し、輸送位置に固定すると、ウインチハンドルを回すことはできません。**

リフトをトラックに積み込む際は、75 mm車輪がトラックの荷台に接するまでリフトをウインチ側に傾けます。リフトの下部を持ち上げ、そのまま荷台に載せます。

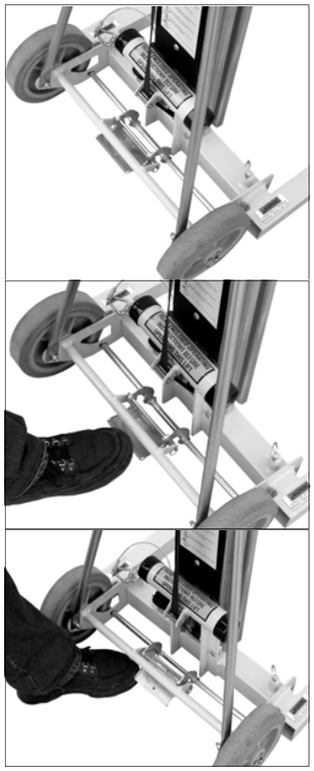
注意

リフトを運ぶ際は、マスト安全ラッチが確実にキャリッジ／フォークに固定されていることを確認してください。

オプション

フットブレーキ (784218)

2200シリーズ リフトには、オプションのフットブレーキを装備することができます。ブレーキは工場で組み付けることも可能ですし、いつでも追加できるオプションとして注文することも可能です。ブレーキが作動しているときは、200 mmの輸送用車輪が回転しなくなります。



ブレーキを作動させるには、ブレーキがロックされるまでブレーキパッドを足で踏み込みます。「カチッ」という音がしたならば、ブレーキがロックされました。

ブレーキを解除するには、ブレーキパッドの下に足を入れ引き上げます。「カチッ」という音がしたならば、ブレーキが解除されました。

作業トレイ (784240)

2200シリーズ リフトには、オプションの作業トレイを装備することができます。トレイはフォークを外すことなく脱着できます。

注意

オプションの作業トレイを使用する場合は、安全ブレーキを推奨します。

デュアルホイールキット (784258)

2200シリーズ リフトには、オプションのデュアルホイールキットを装備することができます。デュアルホイールは、台車として使用する場合や地面がスムーズでない場合、便利です。